

7

水の坂道

神奈川県横浜市



データボード⑦

- ① 神奈川県横浜市保土ヶ谷区川島町
- ② 延長200m, 幅員6~10m
- ③ 階段, スロープ
- ④ 自然石(御影石, 木曾石)

横浜市は長い鎖国の後、外国に向けて港の開かれた町のひとつとなり、寒村から発展した都市である。

明治十六年には、英国人技師パーマーにより上水道施設計画が策定され、日本の近代上水道事業発祥の地ともなった。

保土ヶ谷区にある西谷浄水場を起点とする幹線水道管経路は、水道みちと呼ばれ、横浜市でも最も古いもののひとつである。この一部の向台の谷と呼ばれる傾斜地に、周辺の自然環境を生かし、自然石を敷いて足の裏に土を感じる石段づくりを行った。

道路の生い立ちから、市民から「水の坂道」の愛称がつけられ、散策コミュニティの場として親しまれている。